

あし

ハイキングクラブ



ちんぐるま

第343号

2018年5月10日発行

先月の山行

- ☆ 4月22日(日) 鎌ヶ岳 山行報告参照
- ☆ 29日(日) 富士写ヶ岳 山行報告参照

5月の予定

- ★ 10日(木) 例会
- ☆ 13日(日) 鷲走ヶ岳

CL

- ☆ 19日(土) 労山50年創設記念安全講座
- 20日(日) 記念登山荒島岳
- ☆ 27日(日) 鳴谷山 1597m 4時間

CL

6月の予定

- ☆ 10日(日) 能郷白山 1617m 3時間
サラサドウダン
- ★ 14日(木) 例会
- ☆ 24日(日) 白山釈迦岳 or 3の峰 6時間
アツモリソウ

CL

- ☆ 7月8日(日) 金草山と冠山 全5時間
1227m, 1257m

CL

山行申込み方法

・例会時に未定であったり、山行申込済で都合によりいけなくなった場合は、前々日夜までに山行リーダーへ直接連絡してください

山の予定は天候に左右されます。より hot な情報は

<https://asihiking2.jimdo.com/山行計画-1>

検索し再確認して下さい。

山行計画書を提出して下さい

クラブ山行の場合はリーダーが、個人山行の場合はそれぞれで山行前日迄に宮本会長まで。

[山行報告]

鎌ヶ岳 1161m

日時 2018年4月22日

報告者 小泉 保



今日は鈴鹿セブンマウンテンのひとつ、鎌ヶ岳です。鈴鹿のマッターホルンと言われている山です。その鎌ヶ岳に咲いているイワザクラを探しに行きます。全国で3箇所しか咲いていない珍しい花です。7時30分頃菰野町に入る。鈴鹿スカイラインを登っていく。すでに裏道登山口手前から側道に車が駐車している。当然駐車場は満車。中道に上にある駐車場に無理やり停める。相変わらず凄い車の数です。支度を整え中道に向かって下りていく。中道登山口の反対のガードレールに『カマ』と書いてあるのが登山口。ガードレールから下りていく。すぐに分岐がある。間違えて武平峠に向かって行く。沢を登るはずなのに山を登っている。間違いに気づきすぐに戻る。長石谷コースの分岐に向う。長石谷コースはいきなり沢です。橋が流されているので岩を飛び越えて進む。このコースは中々分かりづらいコースです。渡渉を何回も繰り返し、川沿いに行くも岩登りもある。これを何度も繰り返す。それも急坂になっている。以前イワザクラを見つけた同じ場所に咲いていた。その場所は登山道からかなりの上にあった。岩本さんが一人撮影に登っていく。さらに進むと3m位場所に滑りそうな岩の上に咲いていた。3人が一生懸命撮影している。それを尻目に私達は先に

進む。その先に手の届く位の場所に咲いているはずだ。やはり同じ場所に咲いていた。ここは群生している。以前はイワザクラが珍しいとは思っていなかった。今回は準絶滅危惧種と分かった上で、イワザクラを見ると感激しました。イワザクラを後にしてさらに登っていく。犬星の滝で休憩です。犬星の滝を出ると、徐々に水量が落ち、次第に涸れ沢になる。クマ笹が出てくると分岐の稜線が近い。途中から頂上が顔をだす。幾つもの岩が重なり合った巨大な岩の山です。急坂を登り終えると分岐の稜線に出た。分岐から見る鎌ヶ岳は圧倒されるものがある。最後の急坂を登る。途中振り返って見ると鎌尾根の稜線が綺麗だ。まるでノコギリの歯の様です。最後は手を使って少し登る。すると頂上が見えた。先に行ったメンバーがすでに昼食準備をしていた。今日は焼きそばです。美味しくいただきました。下山は長石尾根を止めて武平峠で帰ることにした。狭く急な尾根を下る。やがて登山道がザレてきた。メチャクチャ滑りそうだ。途中ハルリンドウの群生が広がっていた。春を感じる色で綺麗な花でした。さらに下りていく。まるで砂の山のような。歩く度に砂埃が舞い上がる。滑るので慎重に下りていく。武平峠に着く。真っ直ぐ行くと御在所岳、左に行くと雨乞岳、右に曲り駐車場に向う。すぐに道路に出た。道路を渡り登山道を下りていく。やがて道路に出る登山道出口に出た。道路を少し歩くと駐車場に着く。鎌ヶ岳、長い沢登り、いや岩登りかなと思わるほどのアドベンチャーなコースでした。またイワザクラを発見でき、素晴らしい一日になりました。

日本勤労者山岳連盟発行「登山時報」では、労山会員の皆さんからの投稿写真を募集しています。

登山時報投稿写真係 <mailto:tozanjiho@jwaf.jp>

spvd9w29@ivy.ocn.ne.jp に送信ください。

畑中義和